



創造都市ネットワーク日本

**平成 30 年度
創造都市ネットワーク会議（総会）
議案書**

**平成 31 年 1 月 31 日（木） 13:30～15:00
於 アクトシティ浜松 コンgressセンター41 会議室**

一 総 会 次 第 一

1. 浜松市長挨拶

2. 文化庁長官挨拶

3. 議案審議

- ・ 第1号議案 平成30年度事業報告について
- ・ 第2号議案 平成31年度事業計画（案）について

4. その他

- ・ 文化庁からの報告・連絡

5. CCNJ 顧問による総括

6. CCNJ 新規加盟団体の紹介

7. 事務局からの連絡

一 目 次 一

議案書

第1号議案 平成30年度事業報告について……………	1
第2号議案 平成31年度事業計画（案）について……………	6

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告について

平成 30 年度中に以下の事業を実施した。

1 現代芸術の国際展部会 in 新潟市

- (1) 日 程 平成 30 年 8 月 23 日 (木), 24 日 (金)
- (2) 場 所 NSG 美術館/天寿園/万代島多目的広場 (大かま) /天昌堂/木村屋 ほか
- (3) 事務局 横浜市
- (4) 内 容
 - ▽8 月 23 日 (木)
 - ・水と土の芸術祭 2018 作品展示会場視察
 - ・意見交換会
 - ▽8 月 24 日 (金) ※敬称略
 - ・水と土の芸術祭 2018 作品展示会場視察
 - ・水と土の芸術祭 2018 市民プロジェクト取組視察
 - 講師：本間 智美 (Art Unit OBI 建築家/地域プロデューサー/新潟市南区まちづくりアドバイザー)
 - ・現代芸術の国際展部会担当者ミーティング
 - 「現代美術の国際展と地域美術館の関係」
前山 裕司 (新潟市美術館 館長)
 - 「アートマーケット (美術市場の活性化) への発信」
綿江 彰禪 (一般社団法人美術と創造 代表理事)
 - 「現代美術の国際展を契機とした地域住民活動の仕組みづくり」
藤原 旅人 (九州大学大学院芸術工学府博士後期課程/元さいたまトリエンナーレ 2016 サポーターコーディネーター)
- (5) 参加人数 43 人

2 創造農村ワークショップ in 石垣市

(1) 日 程 平成30年10月17日(水), 18日(木)

(2) 場 所 石垣市立図書館 ほか

(3) 共 催 石垣市

(4) 内 容

▽10月17日(水) ※敬称略

「八重山音楽の国際発信～ユネスコ創造都市〈音楽〉に向けて～」

・基調講演「離島からの文化発信」

講師：佐々木 雅幸 (CCNJ 顧問/同志社大学 教授)

・パネルディスカッション

パネリスト：久万田 晋 (沖縄県立大学 附属研究所長・教授)

大工 哲弘 (八重山民謡 唄者)

野田 隆司 (桜坂劇場 プロデューサー)

モデレーター：杉浦 幹男 (アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター)

・講評 佐々木 雅幸 (同上)

・意見交換会

▽10月18日(木)

・エクスカージョン

「八重山伝統音楽体験」「八重山ミンサー見学・体験」「離島(小浜島・竹富島)視察」

(5) 参加人数 37人

(6) その他 10月17日の講義終了後、ラウンドプレゼンテーションを石垣市主催で実施。

・ラウンドプレゼンテーション ※敬称略

「創造都市『ISHIGAKI』の明日を担うクリエイティブ」

① 総合プレゼンテーション

プレゼンター：岡田 智博 (一社ブルーオーシャン)

宮良 賢哉 (石垣市観光文化課)

② プレゼンテーション～創造力で次の世代の島を紡ぐプロジェクト

プレゼンター：吉田 友厚 (船大工)

伊集 満枝 (八重山高校教諭)

橋爪 千花 (ゆいしんがき 88 マネージャー)

花城 智子 (FMFM いしがき)

③ 創造都市としてある為に (有識者コメント)

コメンテーター：佐々木 雅幸 (同上)

3 創造都市政策セミナー in 金沢市

(1) 日 程 平成30年12月4日(火), 5日(水)

(2) 場 所 金沢市文化ホール/金沢21世紀美術館

(3) 共 催 金沢市

(4) 内 容

「時代を担う文化の人づくり」

▽12月4日(火) ※敬称略

・基調講演「クリエイティブな人材育成～子どもからプロフェッショナルまで～」

講師：吉本 光宏(株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事)

・パネルディスカッション

パネリスト：浦 淳(認定NPO法人趣都金澤 理事長)

宮田 人司(株式会社CENDO 代表取締役)

本山 陽子(Galleria PONTE ガレリアポンテ 代表)

ファシリテーター：吉本 光宏(同上)

・総括

佐々木 雅幸(CCNJ 顧問/同志社大学 教授)

・意見交換会

▽12月5日(水)

・展覧会視察「チウ・ジージェ 書くことに生きる」(金沢21世紀美術館)

(5) 参加人数 101人

(6) その他

東アジア文化都市2018 金沢のクロージングイベントである国際シンポジウム

「東アジア文化都市と欧州文化首都との連携」および閉幕式典も12月5日(水)に開催

4 分科会

■九州・沖縄ブロック

- (1) 日 程 平成 30 年 8 月 28 日 (火)
- (2) 場 所 宮崎県立美術館 アートホール (宮崎県宮崎市)
- (3) 内 容
文化庁説明
「創造都市ネットワーク日本への参画について」
森 麻利子 (長官官房政策課 政策調整係長)
- (4) 参加人数 43 人 (うち非会員 43 人)
- (5) その他
宮崎県主催「アートマネジメント講座」内での実施

■北海道・東北ブロック

- (1) 日 程 平成 30 年 11 月 8 日 (木)、9 日 (金)
- (2) 場 所 札幌市文化芸術交流センター (北海道札幌市) ほか
- (3) 内 容
▽11 月 8 日 (木) ※敬称略
 - ・事例紹介
磯崎 智恵美 (札幌パフェ推進委員会 プロデューサー)
小田井 真美 (さっぽろ天神山アートスタジオ ディレクター)
安原 清友 (八戸ポータルミュージアム 館長)
吉川 由美 (八戸ポータルミュージアム 文化創造事業アドバイザー)
中野 律 (鶴岡食文化創造都市推進協議会 主任事業推進員)
 - ・文化庁説明
「文化庁の機能強化、地方における文化行政の状況」
山田 素子 (企画調整課 企画調整官)
 - ・意見交換
- ▽11 月 9 日 (金)
視察：札幌市民交流プラザ/札幌大通駅地下ギャラリー500m 美術館/札幌駅前通
地下歩行空間 (文化芸術・創造都市パネル展) 視察
- (4) 参加人数 28 人 (うち非会員 12 人)

■北陸・東海・近畿ブロック

- (1) 日 程 平成 30 年 12 月 4 日 (火)
- (2) 場 所 金沢市文化ホール (石川県金沢市)
- (3) 内 容
 - ・文化庁説明
「新・文化庁について」
松坂 浩史 (地域文化創生本部 事務局長)
 - ・各市の取り組み状況について
- (4) 参加人数 22 人 (うち非会員 0 人)
- (5) その他
「創造都市政策セミナー in 金沢市」との同日開催

■関東・甲信越ブロック

- (1) 日 程 平成 31 年 1 月 15 日 (火)
- (2) 場 所 松戸フューチャーセンター ほか (千葉県松戸市)
- (3) 内 容
 - ・事例紹介 ※敬称略
「一宿一芸のアーティスト・イン・レジデンス『PARADISE AIR』」
庄子 渉 (一般社団法人 PAIR 代表)
「科学、芸術、自然をつなぐ国際フェスティバル『科学と芸術の丘 2018』」
清水 陽子 (Zero Factorial 代表)
 - ・文化庁説明
「新・文化庁について～文化庁の機能強化と京都移転～」
山口 憲二郎 (地域文化創生本部 総括・政策研究グループ 調査役)
 - ・「日本の文化政策の転換点」
太下 義之 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長/主席研究員)
杉浦 幹男 (アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター)
 - ・一般財団法人地域創造からの説明
菊地 俊孝 (一般財団法人地域創造 副参事)
 - ・各団体から取り組み PR
- (4) 参加人数 27 人 (うち非会員 11 人)

■中国・四国ブロック

- (1) 日 程 平成 30 年 9 月 29 日 (土)
- (2) 場 所 岡山県倉敷市
※台風 24 号到来のため中止

第 2 号議案 平成 31 年度事業計画（案）について

平成 31 年度の事業を以下のとおり実施する。

1 ネットワーク会議（総会）

- (1) 開催時期 平成 32 年 1～3 月
- (2) 開催地 浜松市（静岡県）

2 創造都市政策セミナー

- (1) 開催時期 平成 31 年 10～11 月頃
- (2) 開催地 豊島区（東京都）
- (3) その他 「東アジア文化都市 2019 豊島」と連携しての開催を検討中。

3 創造農村ワークショップ

- (1) 開催時期 平成 31 年 9 月頃
- (2) 開催地 豊岡市（兵庫県）

4 現代芸術の国際展部会

- (1) 開催時期 平成 31 年秋頃
- (2) 開催地 宇部市（山口県）

5 分科会

開催を希望するブロックで実施を検討。

6 その他

・規約第 4 条に掲げる事業

- (1) 創造都市ネットワーク会議（総会）の開催など国内の創造都市間の連携・交流に関すること。
- (2) 自治体職員や NPO など創造都市の担い手の研修や人材育成に関すること。
- (3) Web サイトの運営による創造都市関連情報の提供・交流に関すること。
- (4) 海外の創造都市との交流，国際ネットワークとの連携に関すること。
- (5) 創造都市政策に関する調査研究，提言に関すること。

※ 1～5 の事業の開催時期は全て予定とし，詳細が決定次第，CCNJ のホームページ及びメールニュースで通知する。